

第 21 期 第 3 回練馬区男女共同参画推進懇談会 会議録（要録）

1 日時 令和 5 年 3 月 15 日（水）午後 6 時～午後 7 時 00 分

2 場所 区役所本庁舎 1902 会議室

3 出席者 16 名（傍聴者 0 名）

片居木委員	大橋委員	井上委員	村田委員
立川委員	田代委員	渡邊委員	楠井委員
伊藤委員	長田委員	佐治委員	中山委員
西委員	松井委員	三浦委員	中田委員

事務局（人権・男女共同参画課）

4 議題

(1) 「第 6 次練馬区男女共同参画計画」の策定について

5 議事内容

（事務局）

- ・資料 1（委員名簿）に基づき、委員の辞任等について説明。
- ・資料 2 に基づき、第 6 次練馬区男女共同参画計画の策定に向けた懇談会意見の取り纏めの依頼、検討のため専門部会設置の提案、令和 5・6 年度のスケジュールを説明。

[専門部会設置の提案について]

（会長）

第 5 次計画を策定以降、ジェンダーという言葉の広がり、困難女性支援法の成立や不同意性交罪の改正、リプロダクティブヘルスの考え方など様々な動きがあった。大変な作業だろうが、色々な面から練馬区の男女共同参画を定着し推進させるための意見を取り纏めていくことになる。計画内容は広範囲に及ぶため、事務局から、検討にあたって専門部会設置の提案があった。委員のご意見を伺う。

（委員）

コロナ禍で話し合いの機会が減っていたので良い機会だと思う。ジェンダーギャップ指数が下位の日本の現状をうまく区の施策に落とし込めるか気になる。第 1 次産業など雇用されていない女性の状況が見えてこない。女性委員も農業委員会などを除き就任されているが実態が見えてこない。計画から漏らしてしまわないようにしたい。

（会長）

周囲の動向を踏まえて、区にとってどう考えていくべきかが大切である。目標の就労・起業に関する支援という中で、専門部会で具体的に課題等を考えていきたい。

（事務局）

区の女性委員割合などについて数値等情報を提供していく。

（委員）

第 5 次計画策定の時も、専門部会で 4～5 回話し合いを行った。様々な資料を読み込んだうえで、施策や取組をどの目標に含めるべきか検討し、不足している取組みや成果などを明らかにしていくことになる。これまで懇談会ではコロナ禍のため話し合いができていなかったので専門部会に期待したい。

(委員)

専門部会の担当範囲に限定することなく、広く意見交換すべき。

(会長)

まずは専門部会で検討し、さらに懇談会で全体について意見を出していく。

専門部会の設置案に同意していただけるか。

< 委員から同意の意思表示あり >

(会長)

専門部会の設置について、委員の同意があったので了承する。

(事務局)

専門部会の編成は、「意向確認票」により委員の希望を伺い、学識経験者・行政職員はそれぞれの専門分野を踏まえて調整し、次回懇談会で報告する。

6 その他

(1) 次回懇談会は5月に開催する。

(2) 今年度の活動等について、各委員から意見・感想等の発言があった。

【作成日】令和5年3月23日

【作成】総務部人権・男女共同参画課男女共同参画担当係